

コロンビアの最新動向(2月1日~2月15日)

I. 政治・経済

1. 2007年、金融セクター全体で13%の増益

- 2月12日、コロンビア金融当局によると、2007年のコロンビアに於ける金融セクター全体の収益は対前年比13%増の4.01兆ペソ(約21億ドル)となった。この内コロンビア民間銀行の収益は全体の67.6%を占める2.71兆ペソとなり、対前年比45%増となった。
- 堅調な経済成長による需要増により、貸出業務の利益が大幅に増加した。政府機関を含めた貸出債権は対前年比25%増の112兆ペソ(約588億ドル)に上った。
- 最大手の金融機関である Bancolombia は対前年比で38%の増益(8,040億ペソ)、第2位の Banco de Bogota は39%の増益(5,210億ペソ)を計上。外資系では BBVA が30%の増益(3,200億ペソ)となった他、シティ・バンクは51%の増益(1,160億ペソ)となった。一方、HSBC の収益は510億ペソと対前年比521%の大幅な減益となった。
- 一方、貸出の延滞率は3.8%となり、前年の3.3%に比べて若干増加した。

II. 外交

1. ATPDEA延長を要請

- 2月1日、プラタ商工相はスーザン・シュワブ米国通商代表に対し、2008年2月末に期限切れとなる ATPDEA(アンデス特惠関税麻薬取締協定)の1年延長を要請した。
- 2月14日、米下院歳入委員会は、ATPDEA の10ヶ月間の延長を承認。FTA 批准の早期実現を推進する共和党側の反対で、延長期間が短縮されたもの。
- ATPDEA の期間延長の為に、2月末までに米国上院及び下院での手続きが完了することが必要。

III. 石油その他の資源セクター

1. E&P事業でトルコ石油公社と提携へ

- 2月12日、Ecopetrol はベネズエラ国境に近い Norte de Santander 地区の石油・ガス油田開発でトルコ石油公社(TPAO)とE&P契約を締結した。
- TPAO はトルコ最大の石油公社で、同国内で消費される石油の75%を生産。今後 Ecopetrol は TPAO の子会社であるトルコ国際石油会社(TPIC)と合併会社を設立し(各出資比率50%)、探鉱を行う予定。
-

以上